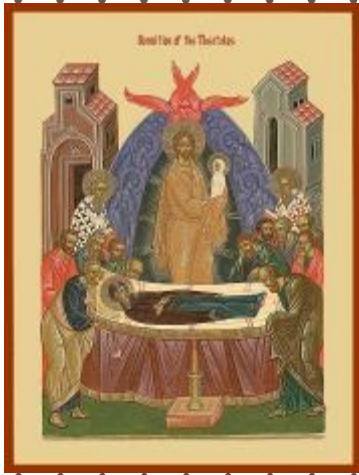




「ゲフシマニヤ、生神女の聖なる堂よ、楽しめ。…爾に因りて世界に大いなる^{あわれみ}憐を賜う主は爾と偕^{とも}にす」

「地の極^{はて}より此^{ここ}に集まりたる使徒等よ、我の体をゲフシマニヤの村に葬れ。爾、我が子及び神よ、我の神^{しん}を^う受け給え。」

(生神女就寝祭晩課・早課より)



仙台正教会
教会だより

2021年
8月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四二〇

TEL(〇二二)二二五二七四四

FAX(〇二二)二四一三〇八〇

http://www.sendai-orthodox.jp

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

生神女マリヤは、その晩年、エルサレムで過ごし、凡そ70代半ばでこの世を去ったとされている。マリヤの死は、しかし「永眠」ではなく「就寝」と呼ばれる(祈祷書では「逝世」という言葉も使用されている)。葬りの三日後にその墓を開けてみると中は空っぽだった。つまりマリヤはすぐに「復活」を先取りしたので。故に「永く眠る」という漢字は不適当だと言える。ただし「死」は「復活」するまでのしばしの「眠り」であることには変わりないため、「就寝」という言葉が選ばれたのであろう。

伝道のために世界に散らばっていた弟子たちは、危篤のマリヤの所へ奇跡的に集まることができた。マリヤは、彼等に「ゲフシマニア(ゲッセマネ)の園の中にある墓に葬って欲しい」と頼んだ。そこは、マリヤの両親と夫イオシフが葬ら

れた墓でもあった。『死』とは、肉体と霊神の分離である。霊神は、マリヤをとおして人となった神・ハリストスの手に抱かれたが、肉体は、ゲッセマネの墓の中に納められた。

ゲッセマネは、エルサレムのすぐそばのオリブ山の中にある園である。ここでハリストスは、十字架にかかる前、血のにじむような祈りをした。そしてその場で捕らえられた。また、最後に昇天した場所も、ゲッセマネのあるオリブ山であった。そもそも「ゲッセマネ」というヘブライ語は、「油しぼり」という意味をもっている。

ギリシャ語でオリブは「エレオン」と言い、憐れみを意味する「エレオス」と発音が似ていることから、オリブ油は「神の憐れみ」を意味するようになった。「ゲッセマネ」とはつまり「憐れみを豊かにしたらせる」という意味になる。マリヤはその就寝の時、肉体も霊神も「憐れみ」の中に包まれたのである。その「憐れみ」は、マリヤだけでなく私たち一人一人をも包んでいる。(D)

通常全国公会開催

7月10日、11日



セラム大主教座下より祝福
をうけるニコライ松田長輔祭



7月10日(土)、11日(日)、東京復活大聖堂教会において通常全国公会が開催された。今年も新型コロナウイルスの影響を受け、各教会からの代議員の出席が大幅に減となったが、神品教役者はほとんど全員集合することができた。

一日目は、宗務報告、宣教企画委員会、財務諮問委員会、諸規則検討委員会の報告がなされた。

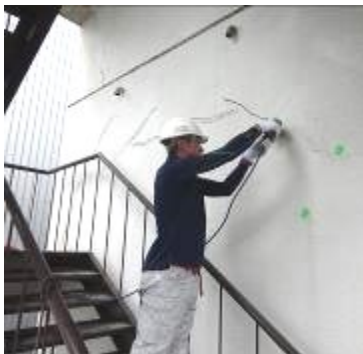
二日目は、決算、予算について討議され、承認された。また、教団として自給神品に関する規程が作成されたことが報告された。

なお、聖体礼儀において、大阪教会のニコライ松田光剛輔祭が長輔祭に昇叙された。

人事に関するものとしては、横浜正教会の兼務管轄が、コンスタンチン榊田神父様(山手教会)からデIMITリー田中神父様(小田原教会)に変更となった他は、大きな異動はなかった。

会館北側の外壁一部修復

今年2月に起きた地震の影響で会館の北側の外壁に亀裂が生じたため地震保険が適用されたことを受けて、古い亀裂部分も含めて修復工事が行われました。壁を洗浄した後に該当箇所をコーキングして、綺麗に塗装されました。



▲ 該当箇所の修復作業



▲ 外階段を利用して工事

長司祭ワシリイ加藤國枝神父様の埋葬式



2021年6月25日(金)、かねてより病氣療養中であつた仙台ハリストス正教会の長司祭ワシリイ加藤國枝神父様が永眠された。88歳であつた。ワシリイ加藤神父様は、昭和7年生れ。東北電力にお勤めになるかたわら、昭和47年に輔祭に叙聖、自給輔祭として仙台教会でご奉仕された。昭和55年に長輔祭に昇叙され、フェオドシイ永島府主教座下時代に開催された数年間の集中講座を経て、平成8年10月27日に司祭に叙聖された。以降、精力的に仙台だけでなく中新田正教会の管轄も熱心に務められ、平成28年に長司祭に昇叙された。

しかし、令和2年1月に休職されてすぐにご病氣(膵臓癌)が見つかり、闘病生活を送られた。持前の生命力と精神力と信仰の力によって1年半もの期間をご家族と共に過ごされた。

仙台生神女福音聖堂において、通夜・パニヒダが6月29日(火)に行われ、翌30日(水)に、司祭埋葬式が、セラフィム大主教座下の御司祷の下長司祭マルコ小池神父、長司祭ダヴィド水口神父および長司祭クリメント児玉神父の陪祷で執り行われた。

追悼投稿

長司祭ワシリイ加藤神父様を偲んで

マリヤ 永元 道子

加藤神父様、長い間お疲れ様でした。加藤神父様との出会いは約70年前になります。幼かった私は、教会が楽しくて聖歌隊や青年会に混ざっていたにいたっていました。帰りが遅くなった時には自宅まで手をつないで送って下さったことを今でも鮮明に覚えています。

マトシカ思いで優しい笑顔とユーモアあふれる人柄が偲べれます。

ある日の勉強会で、「信仰というのは、べこ(牛)のよだれのように細く長く、なかなか切れそうで切れないものだよ。」とお話しされました。娘と共に参拝するようになり、加藤神父様の言葉を改めて噛みしめています。

また、婦人会の卵染めも手伝って下さり、その時のテキパキとした手さばきは見事なものでした。ランパートの苫もきれいに揃えて下さったものです。

司祷される加藤神父様のテノールの声の響き…。今でも耳に残っています。

加藤神父様と共に教会でお祈り出来た

ことを心から神様に感謝いたします。
加藤神父様の永遠の安息と永遠の記憶をお祈りいたします。

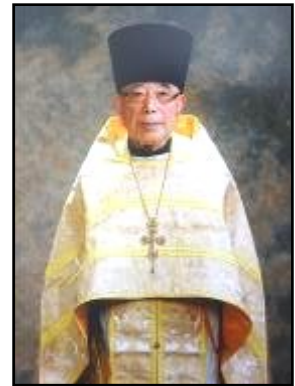
ワシリイ加藤神父様への感謝

セルギイ渡邊 安久



長司祭ワシリイ加藤國枝神父様、17年間中新田正教会を管轄して頂き大変お世話になりました。沢山の思い出を有難う御座いました。常におっしゃられたこと、それは「自分を愛するのと同じように隣人を愛しなさい」でした。聖書には色々書かれているがこれに尽きるということなどを聞きながら神父様を囲んでの持ち寄りの昼食会は、みんなの一番の楽しみでもありました。

又、神父様が全国公会聖体礼儀の中で長司祭に昇叙されたのを記念し中新田正教会として、お父様に頂いた祭服を着た記念写真を、お祝いとして皆で喜び合い贈った事が思い出されます。その写真がまさか神父様の遺影として飾られるとはショックをかくせませんでした。でもそのくらい大切にしていたことを家族の皆様にお聞きした時、改めて感謝の思いしかありません。



昨年11月に神父様宅へ突然訪問、四時間ほど色んな話をし

たことが最後となりました。とても悲しすぎます。願わくは長司祭ワシリイ加藤神父様、マリヤ勢津マトシカ様が永遠の安息と復活の生命に与ることができるようお祈りいたします。永い間本当にお世話になりました。ありがとうございます。永遠の記憶。

ワシリイ加藤神父様を偲んで

マリヤ 太田ちえ子



加藤神父様がご病気で教会をお休みなさった昨年2月からメールで交流をさせていただきました。今年『仙台闊歩』に教会の記事が掲載されたことを教会だよりでお知りになった神父様から、雑誌の購入送付の依頼を受けました。以下はその記事を読まれた神父様からのメールの一部です。

「私は金須先生が作曲された『親しみ

の捧げもの』『平和の憐れみ』と聖体礼儀冒頭の12回の『大連祷』が好きで、特に12回それぞれのメロディで主憐れめよと澄んだメロディで歌うとき、この祈りが天上の宝座に届いたという実感が全身に伝えられた思いでした。正教会は聖歌そのものがお祈りです。正教会は聖歌の連続です。緊張と感動の連続です。先輩たちは金須先生の教えを受け、私達は後へ続く人達へ伝えて行く。これからも連綿と歌い継がれて行く事でしょう。」

今年の元旦は『今年こそ(教会に行きたい)』、1月14日聖大ワシリイの聖名祭は『一日も早く教会に行き皆の顔が見たい』といつもいつも教会に参拝し神様から祝福される事の大切さをメールに書いておられました。4月4日、最後のメールの締めくくりは『罪僕ワシリイにご加禱をお願いいたします』でした。

コロナ禍の中での闘病で、教会参拝もままならず、神様の祝福を切に願う神父様のお気持ちを感じる時、涙が流れます。神父様から頂いた思い出、メッ

セージを心に刻み、教会生活を送っていきます。神様のお側で、マトシカと共に安息なさいますようお願いしています。

土地成聖式の思い出

マルコ熊谷経光



今から46年前の出来事です。加藤神父様は既に輔祭として奉仕していた時のことです。亡父が宮城野区に知的障害者施設「きぼう園」を建設するにあたり土地成聖式を執り行う時のことです。その当時の神父様がどうしても成聖式を執り行うことが出来ない急用があったため、神父様の代わりに加藤輔祭様に白羽の矢が立ったのです。それに対し加藤輔祭様は困惑されてしまい、東京本会に対し事情を話して相談されたそうです。その結果、本会のほうから特別のお許しが出て無事成聖式を終えることが出来たのです。加藤神父様には、本当にご迷惑をお掛けしたと感謝の念で一杯で、加藤神父様との思い出の一コマとなっています。なお、施設運営に関しては、大主教様をはじめ信者の皆様方から多大なるご支援ご協力を賜っていますことを深く御礼申し上げます。

中新田正教会だより



7月4日(日)、暦を先取りして中新田正教会の堂祭である「前駆授洗イオアン誕生祭」の聖体礼儀が行われ、月例パニヒダが祈られた後、2021年度の新田正教会信徒総会が開催された。出席数の確認と開会宣言、神父による訓示の後、昨年度の宗務・事業報告が行われた。建物の登記の完了、物置の設置、代式祈祷の継続、収穫祭の開催などが報告され、コロナ禍の影響を受けて活動の縮小を余儀なくされているが、滞りなく巡回と祈祷は行われたことが確認された。続いて財務に関して、決算報告、財産目録の説明が行われ、監査報告がなされた。教区からの借入金残額のすべ

て返済できたことは特筆すべきことであった。また昨年から始めた貯金箱献金も功を奏した結果となり、教会維持基金会計(今年から聖堂建設基金の名称をこのように変更)に繰り入れた。なお、教会西墓地にある教会所有の区画に新たに「教会共葬墓」を作ることにし、規程などの詳細は執事会に一任された。



第一子を出産されたエカテリナ渡邊麻美姉が、7月3日に産後40日の祈祷にあずかり、母子共に神の祝福をお受けになった。



8月聖名日 モレーベンのご案内

8月1日(日)聖体礼儀後

8月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。



▲聖預言者イリヤ



▲聖マリヤ・マグダリナ

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
8/2	聖預言者イリヤ	伊勢 薫、居川達彦、大槻智也
8/4	マリヤ (マグダリナの聖携香女)	遠藤千尋、伊藤万理亜、太田ちえ子 片上裕子、勝又淑子、木村富喜子、 佐藤佑美、佐藤浩子、内海えり子、 永元道子、鈴木三千代、鈴木テレサ 横山節子、及川聡子、古仲和香奈、
8/6	ハリスティナ (ティルの聖致命女)	桜井愛莉紗
8/8	パラスケワ (ロマの聖致命女)	針生佐和子
8/14	ソロモニヤ (聖致命者マッカウエイの母)	権藤順子
8/16	ファウスト (コンスタンティノポリの克肖者)	山崎浩夫
8/18	ノンナ (神学者聖グリゴリオの母)	瀬沢ノンナ、平塚 望
8/21	ミロン (クリトの克肖者主教)	千葉 温
8/30	ミロン (キジクの聖致命者)	水口勇毅

献金報告 (3.6.28～3.7.22)

○聖堂内献金 四万九千五十円

○聖名祭感謝献金

五千円 本多弘子、高橋ゆり

三千円 笹川皓、古田直子、水口敦子

○会報献金

一万円 吉永恵一・孝子

五千円 白河正教会、小島紀二

○埋葬献金

百万円 永沢 (加藤神父)

○四〇日祭・納骨献金

三万円 永沢 (加藤勢津)

二万円 村井恵子 (納骨)

○パニヒダ献金

一万円 清水格・彩子

五千円 片倉 徹、遊佐なみ子、高橋

三千円 清太、佐々木 隆

平塚 清、笹川 皓、佐々木

一志、鈴木三千代、葛西弘子

千円 西海枝康子、高橋ゆり、古田

直子

※敬称略



執事会報告

令和3年7月15日(木)

午後2時～3時 3階会議室

一、報告事項

・信徒総会が6月20日(日)に開催。新執事のイリヤ木村良治兄を紹介。木村兄は収益事業の会計も新たに担当してくださる。

・長司祭ワシリイ加藤神父様のご永眠。埋葬式は大主教座下司祭、三人の司祭の陪侍で行われた。教会、執事会、婦人会、方舟会より供花、聖歌隊より御花料

・教区会議 6月27日(日)仙台にて開催。理事、財務、監査の他、代議員として三名が出席、他は欠席委任となった。
・全国公会 7月10、11日東京にて開催。神品代議員として水口神父のみ出席。
・会館外壁亀裂部分修復完了 6月末。
・会計報告 一般/収益
国債五千万円を購入した。諸費用約35万円。10年で50万円の利息。

二、協議事項

(1)責任役員…加藤神父様ご永眠のため新任(もしくは代務者)選出が必要。

検討した結果、マリヤ太田ちえ子執事を、責任役員代務者として手続きを進めることとなった。手続き完了次第、県庁提出書類をそろえて送付する。

(2)会報8月号に加藤神父追悼ページを作る。加藤神父様の思い出話や感謝の言葉を数名の人にお願ひする。文字数などの関係で水口神父が添削する。

三、その他

9月の敬老会は、昨年と同様、祈祷だけで祝賀会は中止だが、記念品をどうするか。去年は、手作りマスクだったが、今年は何がよいか、各執事は次回の執事会までに考えてくる。



生神女就寝祭

生神女マリヤの死と復活を記念する祭。「生命の母として生命に移る」ことを意味するマリヤの眠り(死)は、私達にとって模範である。そこに近づけるよう、マリヤの転達を祈ろう。



主の変容祭

ハリストスが山の上で、神としての栄光の姿に変容されたことを記憶する祭。私達も神の光(力)にあずかって、果物のようにおいしく変容することを願って、果物を持参して参拝しよう。

今月のお祭

8月行事・奉事予定



1 31 日(土) 主日徹夜禱 第5調(17時)
書札 第6主日聖体礼儀(10時)

書札 ロマ12:6・14
福音 マトフエイ9:1・8

※ 聖名日モレーベン

◆ 定例執事会

7 日(土) 主日徹夜禱 第6調(17時)

8 日(日) 第7主日聖体礼儀(10時)

書札 ロマ15:1・7

福音 マトフエイ9:27・35

■ 月例パニヒダ

8 日(日) 中新田正教会・代式祈禱(10時)

14 日(土) 徹夜禱はお休み 第7調

15 日(日) 第8主日 代式祈禱(10時 30分)

書札 コリント前1:10・18

福音 マトフエイ14:14・22

※ この日は代式祈禱が行われます。

◆ 聖堂清掃奉仕の日

14 日(土) 水口神父白河出張

15 日(土) 18時 主日徹夜禱

15 日(日) 10時 主日聖体礼儀／果物の成聖

19 18 日(水) 祭日徹夜禱(17時)
日(木) 主の変容祭聖体礼儀(9時)

書札 ペトル後1:10・19
福音 マトフエイ17:1・9

果物の成聖

22 21 日(土) 主日徹夜禱 第8調(17時)
書札 第9主日聖体礼儀(10時)

福音 コリント前3:9・17

福音 マトフエイ14:22・34

◇ ミニ講話、婦人会・方舟会

28 27 日(金) 祭日徹夜禱(17時)
日(土) 生神女就寝祭聖体礼儀(9時)

書札 フイリツプ2:5・11

福音 ルカ10:38・42、27・28

29 28 日(土) 主日徹夜禱 第1調(17時)
日(日) 第10主日聖体礼儀(10時)

書札 コリント前4:9・12

福音 マトフエイ17:14・23

28 日(土) 水口神父中新田出張

29 日(日) 16時 30分 勉強会／18時 晩禱

10時 主日聖体礼儀／果物の成聖

月例パニヒダ／共葬墓地成聖



一斉メールのご案内

緊急のお知らせなどのために、教会から信徒の皆様に一斉にe-mailを送付しています。ご希望の方は、仙台教会にメールをお送りください。アドレスは以下のとおりです。

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

必ず本文に「一斉メールを希望」の旨とお名前をお忘れなくお書きください。

なお、すでに登録してある筈なのに最近届いていないと思われる方も、お手数ですが、もう一度教会宛にメールを送ってくださるようお願いいたします。

8月の予定

【聖名祭感謝祈禱】1(日)

【月例パニヒダ】8(日)

【代式祈禱】15(日)

【聖堂清掃奉仕】15(日)

【ミニ講話／婦人会・方舟会】22(日)

【教会学校】→お休み

【聖歌練習】→お休み

【伝道会】4(水)、11(水)、18(水)、25(水)



祈禱は予定どおり行われます。状況を見ながら十分お気をつけてご参拝下さい。